



すがい けん  
**菅井 健**さん  
 山形県朝日町



「無袋ふじ発祥の地 わごう 和合」で心を込めてりんごを作っています



## 経営のきっかけや思いなどについてお聞かせください。

幼い頃から植物を育てることが好きだったこともあり、両親の後を継ぐことになりました。3兄弟の末っ子の私ですが自然にそうになりました。約4.5haで、りんごのほか桃やラ・フランスを生産しています。

**一番力を入れているのが“りんご”です。**

りんごは雪が降るギリギリまで樹上で熟成させ、蜜を多く入れた状態で収穫します。短期間での収穫作業になるため人手はかかるものの、待っていてくれるお客様に喜んでもらいたい一心です。

自身の直売所「くだもの中屋（なかや）」や「宅配」で販売しています。



## 農業の魅力はどのようなところですか。

就農して10年。年々、1つ1つの作業の意味が理解できるようになり、すべての作業結果が“りんご”に現れるので作業が楽しくて仕方ありません。

ほとんど直売なので、お客様の声がダイレクトに届くことも励みになっています。

自然にはかなわないこともあります。



丁寧に収穫されたりんご  
 (写真提供：菅井さん)

けれども、農業は、自分にとって“天職”だと思い、良いものを作ろうと日々仕事に取り組んでいます。



## 今後の経営、目標や夢、将来展望をお聞かせください。

雇用しているパートさんや家族の働き方を見直して、作業の平準化と柔軟な働き方ができるような『働き方改革』に取り組み始めたところです。これによりパートさんの定着も図れればと考えています。

りんごの栽培は「剪定技術」が重要です。先輩からアドバイスをもらいながら自身の技術向上を目指します。良いものを作れば自ずと結果はついてくる！待っていてくれるお客様のためにおいしい果物を提供していきます。



りんご、蜜がたっぷり  
 (写真提供：菅井さん)